

学習指導要領		都立一橋高校 学カスタンダード
<p>(1) 私たちの時代と歴史</p>	<p>現代の社会やその諸課題が歴史的に形成されたものであるという観点から、近現代の歴史的事象と現在との結びつきを考える活動を通して、歴史への関心を高め、歴史を学ぶ意義に気付かせる。</p> <p>開国前後から第二次世界大戦終結までの政治や経済、国際環境、国民生活や文化の動向について、相互に理解させる。</p>	<p>一億総中流化からバブル崩壊後に顕著にあらわれた格差問題・貧困問題の変遷や、東日本大震災後に改めて認識されるようになったエネルギー・環境問題の推移など、現代の諸課題を歴史的に理解し、自分自身が当事者として考える。</p> <p>日本の政治・経済・文化・社会構造にわたる近代化の道筋を、世界情勢との関連のなかで捉える。</p>
<p>(2) 近代の日本と社会</p>	<p>ア近代国家の形成と国際関係の推移</p> <p>(ア) 近代の萌芽や欧米諸国のアジア進出、文明開化などにみられる欧米文化の導入と明治政府による諸改革に伴う社会や文化の変容、自由民権運動と立憲体制の成立に着目して、開国から明治維新を経て近代国家が形成される過程について考えさせる。</p>	<p>[近代の萌芽]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・産業革命を契機とする18・19世紀の欧米社会の変化が与えた東アジア世界への影響を知る。その脈絡のなかで、日本社会の変化を理解する。 ・既に日本で独自の発展を遂げていた蘭学に加え、幕末にイギリス・フランス・ドイツなどの学問が流入し、洋学として日本の近代化の下地となったことを知る。 <p>[開国から幕府の滅亡]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東アジアを取り巻く国際情勢の変化のなかで、欧米列強が日本に開国・通商を強く求めた背景を知る。 ・安政の五か国条約が日本にとって不平等な内容だったことを知る。その条約締結にあたり、対立が生じ、安政の大獄・桜田門外の変とその後の日本国内の混乱について知る。 <p>[明治初期の諸改革]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中央集権国家樹立のために実施した明治政府の諸改革を知る。 ・文明開化による日本の生活様式の変化を知る。 <p>[明治初期の外交]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・征韓論論争が、朝鮮に対する強硬外交実施の

学習指導要領	都立一橋高校 学カスタンダード
<p>(イ) 条約改正や日清・日露戦争前後の対外関係の変化、政党の役割と社会的な基盤に注目して、国際環境や政党政治の推移ついて考察させる。</p>	<p>時期をめぐる対立であったことを知る。具体的には、韓国にとって不平等な日朝修好条規を強要したのは内治派だったことを知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ロシアと千島・樺太条約、清国と日清修好条規が結ばれたことを知る。 <p>[自由民権運動の展開]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大久保政権に象徴される明治政府の恣意的な有司専制に対する批判・不満が自由民権運動につながったことを知る。また、大久保利通ら政府首脳が一貫して国会開設を認めようとしなかったことを知る。 <p>[立憲体制の成立]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高まる国会開設要求に伴う政府批判の中で、大久保利通が、板垣退助・木戸孝充を取り込み、漸次立憲政体樹立の詔を発したことを知る。 ・伊藤博文が中心となり、極秘裏に欽定憲法を作成していたことを知る。憲法発布後、黒田清隆首相が超然主義を演説し、藩閥政府の意向通りの政治を行う決意を表明したことを知る。 <p>[条約改正]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・岩倉遣欧米使節から始まる不平等条約改正の交渉の流れを知る。また、藩閥政府井上外相の条約改正の失敗を民権派が糾弾する三大事件建白運動がおこったことを知る。 <p>[日清・日露戦争と国際関係]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・朝鮮をめぐる日本と清国との対立が、日清戦争につながることを知る。 ・下関条約で日本が獲得した遼東半島を三国干渉により、清国に返還したことを知る。これが、朝鮮・中国東北部をめぐる日本とロシアとの対立につながったことを知る。 ・日露戦争と同時進行で、韓国に対する侵略がおこなわれたことを知る。この間、欧米列強は、

学習指導要領	都立一橋高校 学カスタンダード
<p>イ近代産業の発展と両大戦をめぐる国際情勢</p> <p>(ア) 産業革命の進行、都市や村落の生活の変化と社会問題の発生、学問・文化の進展と教育の普及、大衆社会と大衆文化の形成に着目して、近代産業の発展と国民生活の変化について考察させる。</p> <p>(イ) 諸国家間の対立や協調関係と日本の立場、国内の経済・社会の動向、アジア近隣諸国との関係に着目して、二つの世界大戦とその間の内外情勢の変化について考察させる。</p>	<p>韓国皇帝による日本の侵略行為の訴えを無視し、1910年に韓国併合がおこなわれたことを知る。</p> <p>[政党政治の展開]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第一次護憲運動と大正デモクラシーについて知る。 ・資本主義が発展するなかで、農村部では寄生地主制が拡大し、都市部では低賃金労働者の劣悪な労働条件が顕在化したことを知る。 ・第二次護憲運動のもと護憲三派内閣が成立したことを知る。その内閣で普通選挙法と治安維持法が成立したことを知る。 <p>[産業革命の進展と資本主義の発展]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・軽工業から重工業への産業革命の進展を、軍需産業との関わりで知る。 <p>[国民生活の変化]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国家が推進した寄生地主制の拡大に伴う、小作農の子女が、都市下層低賃金労働者の母体となっていた構造を知る。 <p>[第一次世界大戦前後の国内外の動向]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第一世界大戦と大戦景気について知る。 ・辛亥革命と二十一か条の要求を知る。 ・ワシントン体制下の協調外交を知る。 <p>[戦間期の国内外の動向]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・金融恐慌・世界恐慌・昭和恐慌と連続した、経済打撃により労働争議・小作争議が続発する一方、軍部・右翼が台頭していった過程を知る。 <p>[第二次世界大戦前後の国内外の動向]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・満州事変を契機とする日中戦争の泥沼化からアジア太平洋戦争勃発までの過程を、第二次世界大戦など国際情勢との関連で理解する。

学習指導要領		都立一橋高校 学カスタンダード
<p>(3) ウ近代の追究</p> <p>現代の日本と世界</p> <p>近代における政治や経済、国際環境、国民生活や文化の動向が相互に深くかかわっているという観点から、産業と生活、国際情勢と国民、地域社会の変化などについて、具体的な歴史事象と関連させた適切な主題を設定して追究し表現する活動を通して、歴史的な見方や考え方を育てる。</p> <p>第二次世界大戦後の政治や経済、国際環境、国民生活や文化の動向について近現代の歴史との関連を重視して考察させる。</p> <p>ア現代日本の政治と国際社会</p> <p>占領政策と諸改革、新憲法の成立、平和条約と独立、国際交流や国際貢献の拡大などに着目して、我が国の再出発及びその後の政治や対外関係の推移について考察させる。</p>	<p>・近代日本の形成過程を、政治経済・国際情勢・社会・文化の相互関係を通して知る。</p> <p>[我が国の再出発]</p> <p>・敗戦後のアメリカを中心とした占領軍の指令による諸改革を知る。</p> <p>・日本国憲法の制定過程を知る。</p> <p>[冷戦の開始と講和]</p> <p>・冷戦の開始による日本を取り巻く国際情勢の変化を知る。</p> <p>・朝鮮戦争による日本の経済状況・社会体制の変化を知る。</p> <p>・サンフランシスコ平和条約をめぐる国内の対立を理解する。</p> <p>・サンフランシスコ平和条約11条で、極東国際軍事裁判・国内外での戦争犯罪者裁判を日本政府が受諾することが明記されていることを知る。</p> <p>[政治や対外関係の推移]</p> <p>・55年体制の成立過程を知る。</p> <p>・鳩山内閣の自主外交と日本の国際連合加盟への過程を知る。</p> <p>[日本経済の発展と国民生活の変化]</p> <p>・高度経済成長期の具体的内容と、その公害・過疎化などのひずみを知る。</p> <p>・安定成長から経済大国への道のりを知る。</p>	

学習指導要領	都立一橋高校 学カスタンダード
<p>イ 経済の発展と国民生活の変化</p> <p>戦後の経済復興、高度経済成長と科学技術の発達、経済の国際化、生活意識や価値観の変化などに着目して、日本経済の発展と国民生活の変化について考察させる。</p> <p>ウ 現代からの探求</p> <p>現代の社会やその諸課題が歴史的に形成されたものであるという観点から、近現代の歴史に関わる身の回りの社会的事象と関連させた適切な主題を設定させ、資料を活用して探究し、その解決に向けた考えを表現する活動を通して、歴史的な見方や考え方を身につけさせる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・マスコミやネット情報を有効活用し、身近な社会の諸問題の歴史的背景を知り、その解決を主体的に考える。